

大 学 院 特 別 講 義

「幻覚や妄想とはどんな感じのものか？」

川添記念病院精神科 本村春彦

「幻覚」や「妄想」という言葉を聞くと、実に異常で健康人とは全く縁のない極めて異質なもののような印象をもっているのが通常である。しかしながら生理的な脳の機能を改めて考えることによって、幻覚や妄想を、健康人の延長線上に、ある程度理解しようとすることができる。本来、幻覚学、妄想学、自我心理学などを専門外の人が広範囲を習得するには時間がかかり、実感にも乏しいため、「理解不能なもの」となり、それ以上先に理解が進まないのが実情だと思われる。「幻覚」や「妄想」が「どのような感じ」かが「何となくわかった」気になり、「今まで思っていたのと違ったなあ」と感じてくれれば幸いである

平成 20 年 8 月 1 日 (金) 18 時 00 分 ～ 20 時 00 分

1 号館 6 F 歯学部演習室 3, 4 (図書館の上)

(連絡先 ; 頭頸部心身医学分野 豊福 明)
(内線 5909. 院内 PHS 64110)



6月、7月に講義して頂いた中村先生と前野先生もいらっしゃって、丁々発止の議論をして頂きました。

他分野の先生や学部学生さんも大勢来て頂き、熱心な討論を遅くまでありがとうございました。

